

直方文化財散歩・記念碑巡り
上境の岡森堰の工事記念碑

岡森堰の所在地

彦山川の東岸の堤防道路を田川方面に向かって走行すると、田川郡福智町との境界線の手前の上境でコンクリート製の巨大な構造物が川をせきとめています。これが岡森堰です。下流域に農業用水を提供するための設備です。

昭和五十八（一九八三）年に近代的な巻揚げゲート式の可動堰が完成しましたが、その歴史は江戸時代に始まります。



現在の岡森堰全景

記念碑の所在地

岡森堰のすぐ横の堤防道路の東側に岡森堰管理所があり、敷地内にいくつかの石碑があります。ここは江戸時代には「番宅」と呼ばれていたところです。

渡辺善吉碑

初めて本格的な堰の構築に当たった感田村の大庄屋渡辺善吉（二七二四～八二）の功績を称えて明治二十四（一八九一）年に建立されたものです。

渡辺善吉は鞍手郡笹田村に生まれ、感田の渡辺家の養子になりました。

郡奉行島井市太夫の助力を得て、一七七二年に難工事を完成させました。下流に用水路が引かれ、下境・赤地・頓野・感田・楠橋・木屋瀬の六力村を美田に変えました。



渡辺善吉碑
（上境 旧番宅敷地内）

加藤嘉敦碑

渡辺善吉碑の横に岡森堰の再築に貢献した加藤嘉敦（一七九三～一八七三）の碑があります。

加藤嘉敦は上境の加藤家に生まれ、岡森堰に関する二つの難問を解決しました。

一つは大雨の際に発生する上流の各村で発生する洪水に関する豊前国小倉藩からの抗議、もう一つは堰の経年劣化への対応でした。

前者は福岡藩・小倉藩との粘り強い交渉、後者は一八四三年に大規模な改修工事により解決しました。

この碑は明治三十九（一九〇六）年に建立されました。

直方市・北九州市岡森用水組合は現在も存続しており、事務所は直方市役所内にあります。



加藤嘉敦碑
（上境 旧番宅敷地内）

直方の歴史と文化

文 桙 正 澄

文化財に関する問い合わせ：文化・スポーツ推進課社会教育係（TEL 25-23326）

人の動き

■人口 55,857 人（－340）	□転入 367 人	□転出 358 人
【うち外国人 564 人】	□出生 22 人	□死亡 70 人
男 26,338 人（－190）		
女 29,519 人（－150）		
■世帯数 27,464 世帯（＋74）		

令和4年3月末現在
（ ）は前年同月との比較

<発行>直方市
〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号
URL … <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
<発行日>毎月1日（月1回）
<編集>秘書広報課秘書広報係
TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107
E-MAIL … n-koho@city.nogata.lg.jp
<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ

UD FONT

インターネット
情報提供サービス

SNSやウェブサイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。

直方市Instagram



さあ、あなたもフォロー！

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信中！

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう！

情報メール「つながるおがた」



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで